

みんなの健康ラジオ

『変形性膝関節症の新しい治療法』

(2026年6月25日放送)

横浜市整形外科医会

石川町整形外科

山口 優

膝の痛みの新しい選択肢

ラジオ波焼灼（しょうしゃく）療法（RFA）

湿布や注射で改善しない、でも手術は避けたい患者様へ。

“痛みの神経を直接やわらげる”保険適用の最新治療“を分かりやすく解説します。

多くのシニアを悩ませる「膝の痛み」

① 保存療法の限界

「長年、湿布や痛み止め薬、ヒアルロン酸注射を続けているけれど、なかなか膝の痛みが引かない……」と、従来の保存治療に限界を感じていませんか？

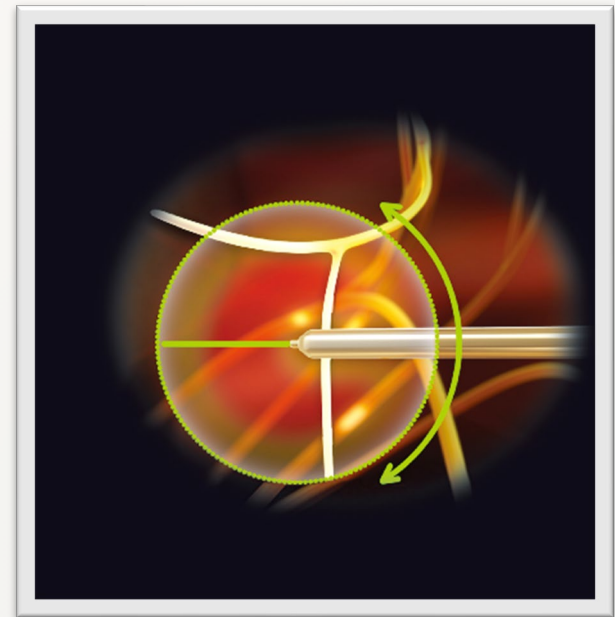
② 手術への高いハードル

「人工膝関節を入れる手術を勧められたけれど、切るのが怖い。リハビリや長期の入院で、家族に迷惑をかけたり家を空けたりできない」と諦めていませんか？

治療の「あいだ」を埋める第3の選択肢

保存と手術のジレンマを解消する最新治療

- 薬や注射が効きにくくなった段階に、確実なアプローチ。
- 体への負担が軽く、大がかりな手術を避けたり
もしくは先延ばしにできる可能性があります。
- 厚生労働省に安全性・有効性が認められた「保険適用」治療です。
- 膝の構造を根本から削るのではなく、痛みの信号を直接遮断します。



神奈川県内でも実施可能な施設はわずか十数箇所※

ラジオ波焼灼療法は、ライセンスを取得した医師のみが行える治療のため、

現在、神奈川県内でも十数施設程度と非常に限られた医療機関のみで実施されています。

当院「石川町整形外科」は、このラジオ波焼灼療法に対応している数少ないクリニックです。

痛みをブロックする仕組み



感覚神経を狙う

膝の痛みを脳へと伝達している3箇所
の「感覚神経（知覚神経）」にだけ
アプローチします。



約60度2分30秒の焼灼

特殊な電極針の先端からラジオ波
（高周波）を流し、60度の熱で
感覚神経を 時的に麻痺させます。



高い安全性

痛みを伝える感覚神経のみに作用する
ため、関節本来の機能や重要な筋力を
損なうことはありません。